

電気設備工事仕様書

I. 工事概要

1 工事場所

琴浦町大字下伊勢164番地1

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	しらとりこども園	木造、一部S造	1	1,726.97	( 6 ) 項 ハ	
2					( ) 項	
3					( ) 項	
4					( ) 項	
5					( ) 項	

3 工事種目

( ㊟印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
● 電 灯 設 備								
㊟ 動 力 設 備	○							
● 電 熱 設 備								
● 雷 保 護 設 備								
㊟ 受 変 電 設 備							○	
● 電 力 貯 蔵 設 備								
● 発 電 設 備								
● 構内情報通信網設備								
● 構内交換設備								
● 情報表示設備								
● 映像・音響設備								
㊟ 拡 声 設 備	○							取外し再取付のみ
● 誘 導 支 援 設 備								
● テレビ共同受信設備								
● 監視カメラ設備								
● 駐車場管制設備								
● 防犯・入退室管理設備								
㊟ 火 災 報 知 設 備	○							取外し再取付のみ
● 中央監視制御設備								
● 医療関係設備								
● 機械設備工事								
● 建築工事								
㊟ 構内配電線路							○	
● 構内通信線路								
● テレビ電波障害防除設備								

4 設備概要

(本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

㊟の付いたものを適用する。

電 灯 設 備	● 電 気 方 式	幹線 ● 単相3線式100／200V ● 直流2線式100V 分岐 ● 単相2線式 ( ● 100V ● 200V ) ● 直流2線式100V 光源 ● 蛍光灯 ● 白熱灯 ● LED 電源 ● 電池内蔵形 ● 電源別置形 ● 避難口 ● 階段通路 ● 廊下通路 ● 室内通路
	● 非 常 用 照 明 器 具	● 誘 導 灯
動力設備	㊟ 電 気 方 式	幹線 ㊟三相3線式200V ● 単相2線式200V ● 単相3線式100／200V 分岐 ㊟三相3線式200V ● 単相2線式 ( ● 100V ● 200V )
	● 受 雷 部	● 突針 ● 棟上げ導体 ● その他金属体 ( ) ● 建築構造体利用 ● 引下げ導線 ● 建築構造体利用 ● 接地極埋設
雷保護設備	● 避 雷 導 線	
	● 接 地 極	
	㊟ 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6. 6kV 低圧 ㊟三相3線式200V ● 単相3線式100／200V ● 単相2線式 ( ● 100V ● 200V )
	㊟ 契 約 電 力	改修工事 既存設備 ㊟ 65 kW 新営工事 ● 100kW未満 ● 100kW以上500kW未満 ● 500kW以上
受変電設備	㊟ 設 備 方 式	● 屋内形 ㊟屋外形
	㊟ 機 器 類	㊟キュービクル式配電盤 ( ● PF形 ㊟CB-1形 ● CB-2形 ) ● 高圧スイッチギア、変圧器盤 (CB-3形) 変圧器 三相 100×2、単相 100、スコット kVA ㊟油入 ● モールド 主遮断器 ● 限流ヒューズ ㊟VCB
	● 直 流 電 源 装 置	用 途 ● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用
	● 交 流 無 停 電 電 源 装 置 (UPS)	蓄 電 池 ● HS形鉛蓄電池 ● MSE形鉛蓄電池 ● ( Ah ) 形 式 ● 機柱によるUPS ● 簡易形UPS 用 途 ● 電算機用 ●

II. 特記仕様

1 一般事項

(1)現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、㊟印の付いたものによる。

㊟公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」「(以下、「標準仕様書」という。)

㊟公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」「(以下、「改修標準仕様書」という。)

㊟公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成31年版)」「(以下、「標準図」という。)

(2)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和元年版)」「(以下「監理指針」という。))を適用する。

(3)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

(1)項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2)特記事項のうち選択する事項は㊟の付いたものを適用する。

㊟の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。㊟と※の付いた場合は共に適用する。

(3)一般共通事項のうち ( 1, 2, 5, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 31 ) 項は、● 建築 ㊟ 機械設備 工事仕様書による。

発電設備

● 自家発電装置

● 太陽光発電装置

● 風力発電装置

電気方式

三相3線式 ● 6. 6kV ● 210V

機器形式 ● キュービクル形 ● 簡易形 ● オープン形

発電機 ( kVA以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン

防油堤 ● コンクリート製 ● 鉄板製 ( ● 本工事 ● 別途工事 )

モジュール ● 結晶シリコン ● 薄膜 ●

風車 ● プロペラ形 ●

通信情報設備

● 構内情報通信網設備

● 構内交換設備

● 情報表示設備

● 映像・音響設備

● 拡声設備

● 誘導支援設備

● テレビ共同受信設備

● 監視カメラ設備

● 駐車場管制設備

● 防犯・入退室管理設備

● 自動火災報知設備

● 自動閉鎖設備

● 非常警報設備

● ガス漏れ火災警報設備

中央制御監視設備

● 形式

● 監視制御対象設備

● 伝送方式

構内配電線路

㊟電気方式

三相3線式 ( ● 6. 6kV ㊟200V )

● 単相3線式100／200V ● 単相2線式 ( ● 100V ● 200V )

㊟施工方法

● 架空線式

● 外灯点滅方式

構内線通路

● 用途

● 施工方法

テ波除し音備電防

● 対策方策

● 責任分界点

一般共通事項

● 機器 ● 配管のみ ● 配管及び配線

● 交換機 ● 局線中継台 ● 電話機 ● ボタン電話装置 ● 配管のみ ● 配管及び配線

● マルチサイン装置 ● 出退表示装置 ● 時刻表示装置

● 増幅器 ● スピーカー ● プロジェクタ ● スクリーン ● その他 ( )

用 途 ● 一般放送 ● 非常放送 ● 個別放送

● 音声誘導装置 ● 身体障害者用インターホン装置 ● トイレ等呼出し装置

● インターホン ● テレビインターホン ● ナースコール

● アンテナ ( ● UHF ● BS ● CS ) ● CATV

● カメラ ● ビデオモニタ ● タイムラプスVTR ● 配管のみ ● 配管及び配線

車両検知方式 ● 光線式 ● ループコイル式

機器 ( ● 本工事 ※ 別途工事 ) 配管 ( ※ 本工事 ● 別途工事 ) 配線 ( ● 本工事 ※ 別途工事 )

● 受信機 ( ● P型 ● R型 ) ● 副受信機 ● 中継器 ● 感知器 ●

連動制御器 ( 回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体 ) 感知器 ( ● 共用 ● 専用 )

複合装置 ● 一体形 ( ※ 一般型 ● 防雨型 ) ● 単独

受信機 ( 回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体 ● LPガス用 ● 都市ガス用 )

● 警報盤 ● 表示操作盤 ● 監視制御装置

● 動力設備 ● 受変電設備 ● 自家発電設備 ● 防災設備 ● 照明制御 ● 給排水設備 ● 空調設備

● アナログ方式 ● デジタル方式

● 電話用 ● 時計拡声用 ● 火災報知用 ● インターホン用 ● 情報通信網用 ● CATV

● 地中埋設式 ● 架空線式

● 都市形CATVへの加入 ● 共同受信方式 ( ● 共同アンテナ ● 館内用アンテナ用 )

● 各戸の保安器一次側 ●

12 完 成 図 等

一般共通事項

13 他工事との取合い

14 土工事

15 電線類

16 電線本数・管路等

17 厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ

18 露出配管の塗装

19 波付硬質合成樹脂管(FEP)

20 フラッシュプレート

21 カバープレートの用途別表示

22 耐震施工

完成後は、速やかに次の完成図書を提出すること。

区 分	名 称	部 数
※ 完成図原図	完成図 ※ 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1 部
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図原図の陽面複写紙 ※ 完成図原図の陽面複写紙 (縮小版) ● 施工図原図の陽面複写紙	※ 3 部 ● 部
※ 完成図 ● A4版黒表紙製本 ※ A4版市販ファイル	※ 完成図原図の陽面複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 2 部 ● 部
※ 保守用説明書 A4版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2 部 ● 部
※ 保証書		1 部
※ 官公署届出書類		1 部

他工事との取合い

	電気設備	機械設備	建 築
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補 強 ● スリーブ・箱入 ※	● ●	※ ●
● 鉄骨造の開口及び補強		● ●	※ ●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (くぎ処理共)	※	● ●	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※ ●	●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠 ※ 補 強 ●	● ●	● ※
● OAFフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		● ●	※
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切 り 込 み 補 強	※ ●	● ● ※
● 自動閉閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		● ●	※
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット (蓋を含む)		● ●	※
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ※	●
㊟ 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線		● ※	●
● テレビアンテナ	基 礎 アンカーボルト	● ●	※ ●
㊟ 天井点検口		㊟ ㊟	※
● 自立型制御盤の基礎		※	● ●
● 機器類のコンクリート基礎	屋 内 設 置 屋 上 設 置	※ ●	● ● ※

埋め戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類 ( ) ● 真砂土 ( )  
建設発生土の処理 ㊟ 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積  
本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。  
EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。  
通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。  
盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。  
ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。  
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。  
メッキ付着量 300g/㎡以上とする。( ※ 屋外 ● )  
塗装する部分 ● 居室、廊下等 ● 機械室 ● 屋外 ●  
波付硬質合成樹脂管 (FEP) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。  
● 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製  
シール等を貼付する。

設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び周解説」(平成8年版・建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。  
1) 設計用水平地震力  
機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。  
設計用標準水平震度

設 置 場 所	機 器 種 別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階注、屋上及び塔屋	機 器			1. 5	1. 0
	防振支持の機器	2. 0		2. 0	1. 5
	水 槽 類			1. 5	1. 0
中 間 階	機 器			1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5		1. 5	1. 0
	水 槽 類			1. 0	0. 6
地 下 及 び 1 階	機 器			0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0			
	水 槽 類	1. 5		1. 0	0. 6

注) 上層階の定義は次(次頁)による。  
2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階  
重要機器 ( ● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換機 ● 直流電源装置 ● UPS装置  
● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 )  
2) 設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。  
● ステンレス製 ( ) ● 溶融亜鉛メッキを施した鋼材  
外気に向する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。  
工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。  
既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。  
探査方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ●

23 屋上、屋側の支持金物等

24 結露防止

25 補修など

26 はつり

27 はつり工事における非破壊検査

有限会社 亀山設計

鳥取県米子市両三柳724番地11

一級建築士事務所 登録第30-1356号

CHECK

DRAWING

縮尺 A2: --  
設計年月日 R 4. 3

工事名称 しらとりこども園空調整備工事  
図面名称 電気設備工事特記仕様書 (1)

図面番号 E-1/8  
NO

一般共通事項

28

接地極

29

アスベスト含有建材の処理

30

室内空気中の化学物質の濃度測定

31

火災保険等

32

グリーン購入

1

電灯設備

2

発電設備

3

情報表示設備

接地極の種類

記号

接地抵抗値

接地極

● 共同接地

E A E D

10Ω以下

E B×3連－2組

● 共同接地

E A E C E D

10Ω以下

E B×3連－2組

● A 種

E A

10Ω以下

E B×3連－2組

● B 種

E B

Ω以下

E B×2連－2組

● C 種

E C

10Ω以下

E B×3連－2組

◎ D 種

E D

100Ω以下

E B×1

● 雷保護設備用

E L A

Ω以下

● E P－0、6×2  
● E B× 連－組

● 高圧避雷器

E L H

10Ω以下

E B×3連－2組

● 交換機用

E t

Ω以下

E B×3連－1組

● 通信用

E A t

10Ω以下

E B×3連－2組

● 通信用

E D t 及び E D a

100Ω以下

E B×1

● 電話引込口の保安器用

E L t

100Ω以下

E B×1

● 測定用

E o

－

E B×1

(連結又は単独の場合、E BはD＝14 L＝1500 または W＝40 L＝1200とする)  
(測定用の場合、E BはD＝10 L＝1500 または W＝30 L＝1200とする)

建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。  
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所

仕様等

処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。  
※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて必要な手続きを行う。  
● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。  
分析方法はJ I S A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。  
● アスベスト粉じん濃度測定を行う。  
(測定時期： 測定場所： 測定点： )  
● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。  
● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。  
対象箇所（ )  
実施する。  
工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。  
(保険の加入期限は、工事完成引渡しまでとする。)  
グリーン購入は次のものとする。  
● 照明制御システム ● 変圧器 ●

1

照明器具

2

一般照明の照度測定

3

非常用照明の照度測定

4

照明制御の照度測定等

1

LED及び蛍光灯ランプの光源色は下記による。  
LEDの光源色 ( ※ 昼白色 ● 電球色 )  
( ※ 昼白色 ● 電球色 )  
コンパクト形ランプの光源色  
2) H f形蛍光灯器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧 ( 100V～242V ) に対応するものとする。  
測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)  
※ 設置した各部屋2箇所以上 ●  
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。  
照度測定時期 100%点灯時 ( ※ 夜間 ● 昼間 ) 調光制御点灯時 ( ※ 夜間 ※ 昼間 )

1

機器への接続

1

大地抵抗率の測定

2

外部雷保護設備接地システム

1

変圧器移動車輪

2

デマンド監視装置

3

予備品等

4

盤内照明

1

交流無停電電源装置(UPS)

1

自家発電装置

2

太陽光発電装置

3

風力発電装置

1

マルチサイン装置

2

出退表示装置

3

時刻表示装置

● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。  
● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極

75kVA以上に取付。  
● 本工事 ● 別途工事 ●  
標準仕様書によるほか、電力ヒューズ現用定格値のものを現用数  
前・後に設置する。

停電補償時間 ( 分 )  
方式 ( ● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式 )  
運転時間 ( h ) 系統連系 ( ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無 )  
出力 ( kW ) 配電盤外箱 ( ● 有 ● 無 )  
保安装置 ( 重故障項目特記 ● 有 ● 無 ) 外部用端子 ( ● 要 ● 不要 )  
減圧水槽及び初期注水槽の材質 ( ● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製 )  
オイルタンク ( ● 地下 ● 屋内  
据付：機械設備工事標準図 ( ● 施工30、32 (タンク室有り) ● 施工31、33 (タンク室無し) )  
燃料小出槽 ( 注 )：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは過通形接点とする。  
材質 ( ● 鋼板製 ● ステンレス製 )  
燃料油等 ( ● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス ( ) )  
排気系統配管断熱材の厚さ ( mm ) ばい煙測定口 ( ● 設ける ● 設けない )  
排気ガスに含まれる窒素酸化物 ( 以下 ) 運転音 ( d B以下 )  
系統連系 ( ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 低圧みなし連系 )  
公称最大出力 ( kW ) 耐風速 ( m / s )  
パワーコンディショナ ( 相 線式 V ) 定格容量 ( kW )  
自立運転機能 ( ● 有 ● 無 )  
表示装置 ( ● 有 ● 無 ) 方式 ( ※ 液晶 ● )  
系統連系 ( ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無 ) 定格出力 ( kW )

1

マルチサイン装置

2

出退表示装置

3

時刻表示装置

イメージスキャナ ( ● 設ける ● 設けない )  
制御装置 ( ● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形 )  
呼出機能 ( ● 有 ● 無 ) 方式 ( ● 発光ダイオード ● 液晶 ● )  
親時計 ( ● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線 )  
太陽電池式屋外時計 ( 点灯時間 h 点灯保証日数 日 )

1

交換機

2

保安器用接地

3

壁付電話機との接続

4

回線数

5

電話機

6

電話機への配線

1

プロジェクト

1

増幅器

1

音声誘導装置

1

自動火災報知設備

2

自動閉鎖設備

3

ガス漏れ火災警報設備

1

施工方法

2

地中箱

3

高圧負荷開閉器

4

高圧ケーブルの端末部

5

高圧ケーブルの屋外端末処理

6

標識シート

7

照明用ボール

1

施工方法

2

地中箱

3

標識シート

1

調査仕様

2

テレビ電波受信障害調査時期

3

受信する受信波及び地点数

4

報告書提出部数

1

機器取付高

1

電力共通

1

電

2

電

3

電

4

電

5

電

6

電

7

電

8

電

9

電

10

電

11

電

12

電

13

電

14

電

15

電

16

電

17

電

18

電

19

電

20

電

21

電

22

電

23

電

24

電

25

電

26

電

27

電

28

電

29

電

30

電

31

電

32

電

33

電

34

電

35

電

36

電

37

電

38

電

39

電

40

電

41

電

42

電

43

電

44

電

45

電

46

電

47

電

48

電

49

電

50

電

51

電

52

電

53

電

54

電

55

電

56

電

57

電

58

電

59

電

60

電

61

電

62

電

63

電

64

電

65

電

66

電

67

電

68

電

69

電

70

電

71

電

72

電

73

電

74

電

75

電

76

電

77

電

78

電

79

電

80

電

81

電

82

電

83

電

84

電

85

電

86

電

87

電

88

電

89

電

90

電

91

電

92

電

93

電

94

電

95

電

96

電

97

電

98

電

99

電

100

電

101

電

102

電

103

電

104

電

105

電

106

電

107

電

108

電

109

電

110

電

111

電

112

電

113

電

114

電

115

電

116

電

117

電

118

電

119

電

120

電

121

電

122

電

123

電

124

電

125

電

126

電

127

電

128

電

129

電

130

電

131

電

132

電

133

電

134

電

135

電

136

電

137

電

138

電

139

電

140

電

141

電

142

電

143

電

144

電

145

電

146

電

147

電

148

電

149

電

150

電

151

電

152

電

153

電

154

電

155

電

156

電

157

電

158

電

159

電

160

電

161

電

162

電

163

電

164

電

165

電

166

電

167

電

168

電

169

電

170

電

171

電

172

電

173

電

174

電

175

電

176

電

177

電

178

電

179

電

180

電

181

電

182

電

183

電

184

電

185

電

186

電

187

電

188

電

189

電

190

電

191

電

192

電

193

電

194

電

195

電

196

電

197

電

198

電

199

電

200

電

201

電

202

電

203

電

204

電

205

電

206

電

207

電

208

電

209

電

210

電

211

電

212

電

213

電

214

電

215

電

216

電

217

電

218

電

219

電

220

電

221

電

222

電

223

電

224

電

225

電

226

電

227

電

228

電

229

電

230

電

231

電

232

電

233

電

234

電

235

電

236

電

237

電

238

電

239

電

240

電

241

電

242

電

243

電

244

電

245

電

246

電

247

電

248

電

249

電

250

電

251

電

252

電

253

電

254

電

255

電

256

電

257

電

258

電

259

電

260

電

261

電

262

電

263

電

264

電

265

電

266

電

267

電

268

電

269

電

270

電

271

電

272

電

273

電

274

電

275

電

276

電

277

電

278

電

279

電

280

電

281

電

282

電

283

電

284

電

285

電

286

電

287

電

288

電

289

電

290

電

291

電

292

電

293

電

294

電

295

電

296

電

297

電

298

電

299

電

300

電

301

電

302

電

303

電

304

電

305

電

306

電

307

電

308

電

309

電

310

電

311

電

312

電

313

電

314

電

315

電

316

電

317

電

318

電

319

電

320

電

321

電

322

電

323

電

324

電

325

電

326

電

327

電

328

電

329

電

330

電

331

電

332

電

333

電

334

電

335

電

336

電

337

電

338

電

339

電

340

電

341

電

342

電

343

電

344

電

345

電

346

電

347

電

348

電

349

電

350

電

351

電

352

電

353

電

354

電

355

電

356

電

357

電

358

電

359

電

360

電

361

電

362

電

363

電

364

電

365

電

366

電

367

電

368

電

369

電

370

電

371

電

372

電

373

電

374

電

375

電

376

電

377

電

378

電

379

電

380

電

381

電

382

電

383

電

384

電

385

電

386

電

387

電

388

電

389

電

390

電

391

電

392

電

393

電

394

電

395

電

396

電

397

電

398

電

399

電

400

電

401

電

402

電

403

電

404

電

405

電

406

電

407

電

408

電

409

電

410

電

411

電

412

電

413

電

414

電

415

電

416

電

417

電

418

電

419

電

420

電

421

電

422

電

423

電

424

電

425

電

426

電

427

電

428

電

429

電

430

電

431

電

432

電

433

電

434

電

435

電

436

電

437

電

438

電

439

電

440

電

441

電

442

電

443

電

444

電

445

電

446

電

447

電

448

電

449

電

450

電

451

電

452

電

453

電

454

電

455

電

456

電

457

電

458

電

459

電

460

電

461

電

462

電

463

電

464

電

465

電

466

電

467

電

468

電

469

電

470

電

471

電

472

電

473

電

474

電

475

電

476

電

477

電

478

電

479

電

480

電

481

電

482

電

483

電

484

電

485

電

486

電

487

電

488

電

489

電

490

電

491

電

492

電

493

電

494

電

495

電

496

電

497

電

498

電

499

電

500

電

501

電

502

電

503

電

504

電

505

電

506

電

507

電

508

電

509

電

510

電

511

電

512

電

513

電

514

電

515

電

516

電

517

電

518

電

519

電

520

電

521

電

522

電

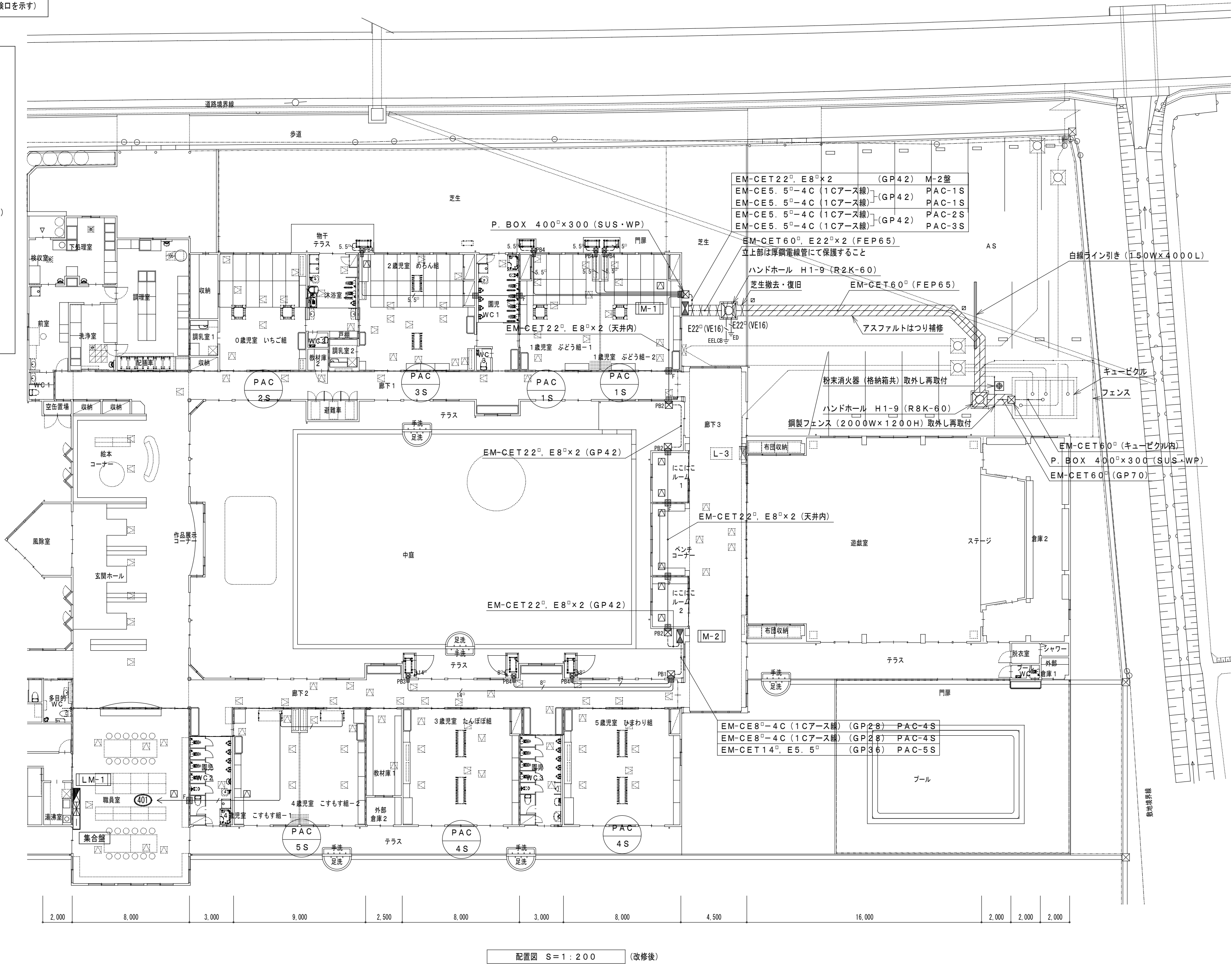
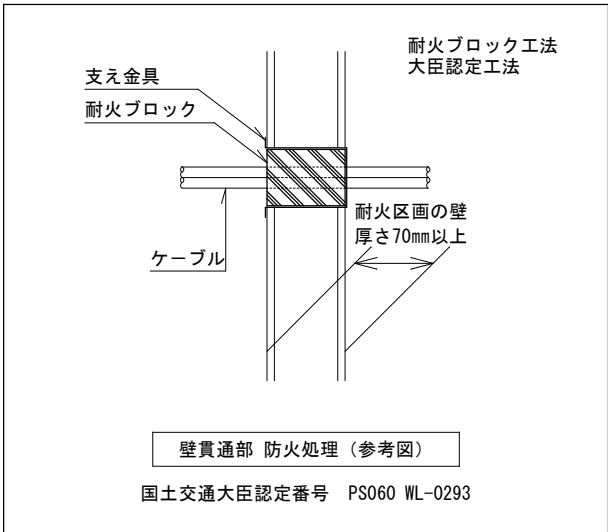
523</

凡 例		
記号	名 称	備 考
<div></div>	ケーブル埋設表示柱	鉄製
<div></div>	天井点検口	450 <sup>□</sup> （細線点線のシンボルは、既設及び本図面以外設置点検口を示す）

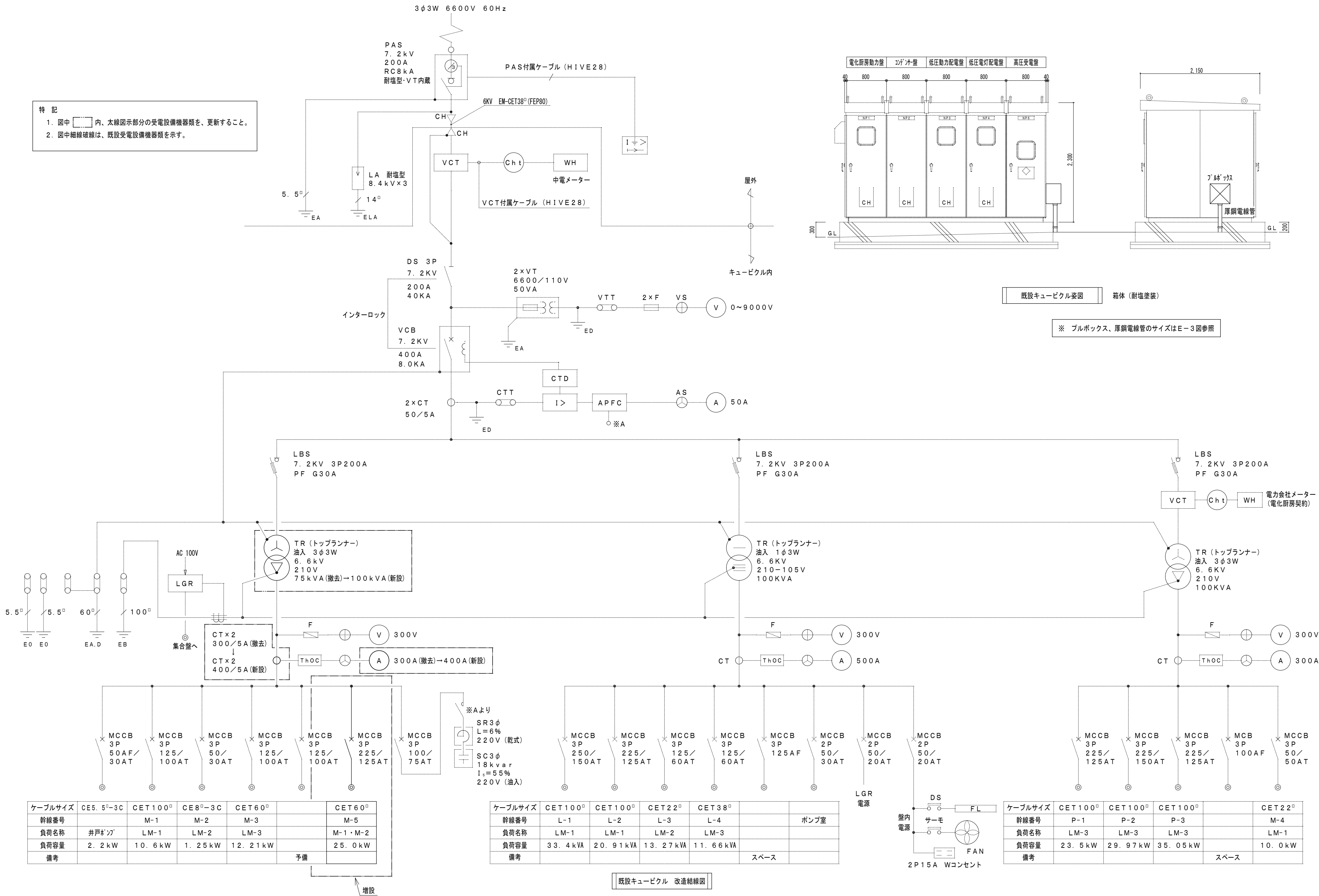
- 特 記
- 図中記入なき配管・配線は、下記による。

5.5 <sup>□</sup>	EM-CE5. 5 <sup>□</sup> -4C（1Cアース線）（GP28）	天井内
5.5 <sup>□</sup>	EM-CE5. 5 <sup>□</sup> -4C（1Cアース線）（GP28）	露出
8 <sup>□</sup>	EM-CE8 <sup>□</sup> -4C（1Cアース線）	天井内
8 <sup>□</sup>	EM-CE8 <sup>□</sup> -4C（1Cアース線）（GP28）	露出
14 <sup>□</sup>	EM-CET14 <sup>□</sup> , E5. 5 <sup>□</sup>	天井内
14 <sup>□</sup>	EM-CET14 <sup>□</sup> , E5. 5 <sup>□</sup> （GP36）	露出
/	EM-EEF2. 0-3C（1Cアース線）	天井内
  - 図中太線の配管・配線・ハンドホール等は本工事部分を示し、細線点線は既設部分を示す。
  - 図中 印は機械はつり補修部を示し、印部分は防火区画貫通処理部（機械はつり補修共）を示す。（下図参考図参照）
  - 厚鋼電線管の露出施工部分は溶融亜鉛メッキ仕上げとし、土中部分は防食テープ巻きとする。
  - エアコン室外機への接続部分は、金属製可とう電線管にて保護すること。
  - 機械設備採用メーカーに合わせて、ブレーカ容量等を確認すること。
  - 既設土中埋設配管を確認し掘削すること。
  - 既存施設を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、既設設備を十分確認して施工すること。
  - 停電作業等、施設運営に支障がある工程は、事前に日程等を施設と打合せの上行うこと。

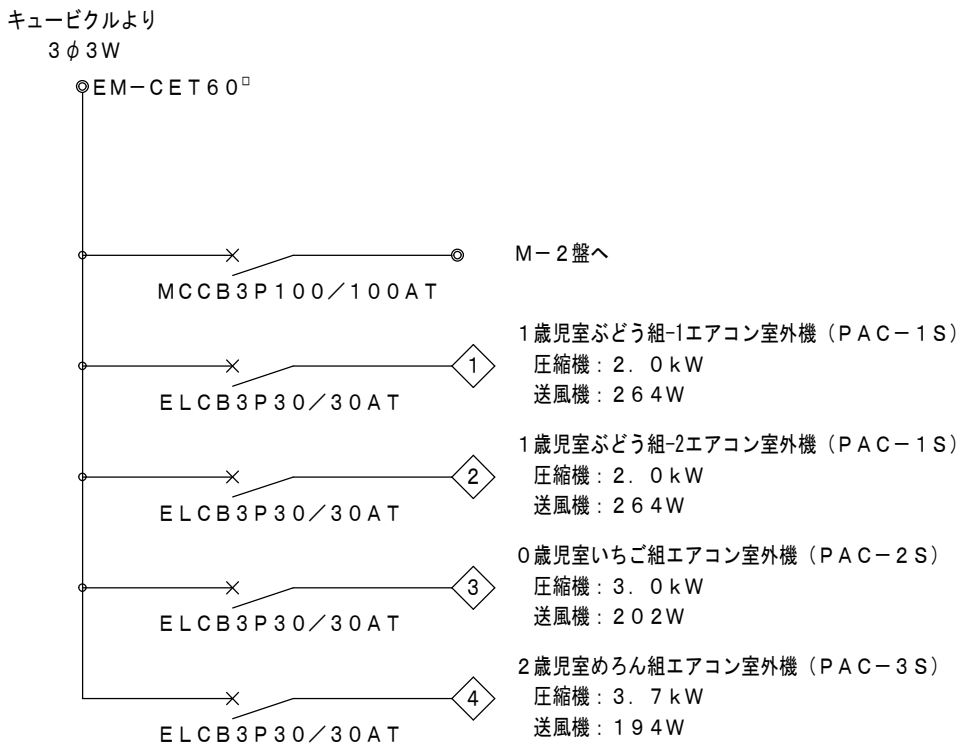
ブルボックスリスト	
PB1	P. BOX 300 <sup>□</sup> ×200（SUS・WP）
PB2	P. BOX 200 <sup>□</sup> ×200（SUS・WP）
PB3	P. BOX 200 <sup>□</sup> ×150（SUS・WP）
PB4	P. BOX 150 <sup>□</sup> ×150（SUS・WP）



特 記  
1. 図中    内、太線図示部分の受電設備機器類を、更新すること。  
2. 図中細線破線は、既設受電設備機器類を示す。



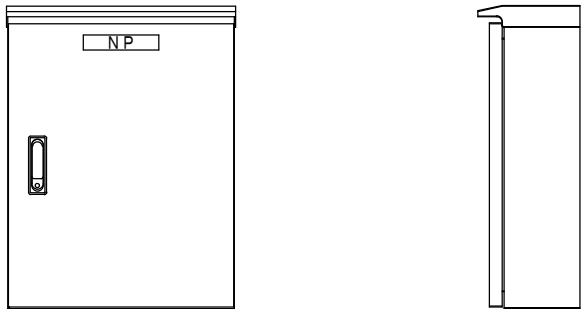
既設キュービクル 改造結線図



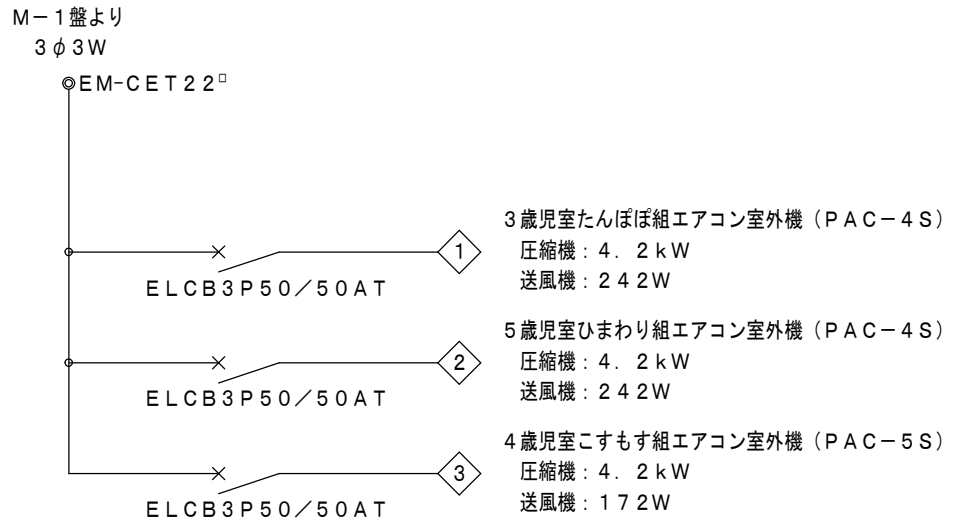
SUS製 屋外防水壁掛型 指定色焼付塗装  
(参考寸法: 600W×800H×200D)

動力盤M-1 結線図

(北側)



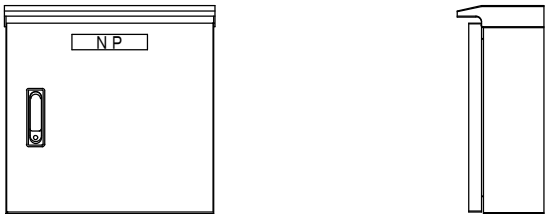
動力盤M-1 参考姿図



SUS製 屋外防水壁掛型 指定色焼付塗装  
(参考寸法: 550W×550H×160D)

動力盤M-2 結線図

(南側)







動力盤M-2 参考姿図



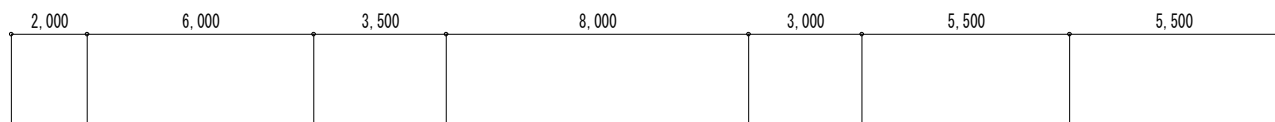
[illegible]

特 記

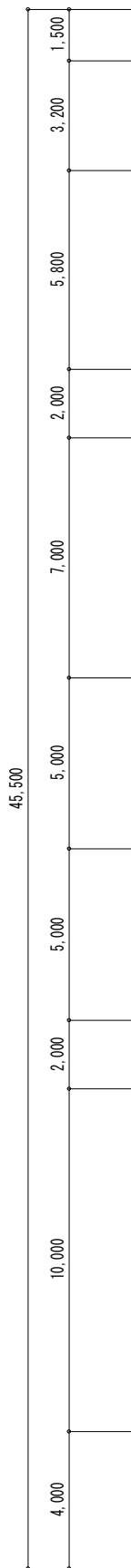
1. 図中  内、太線図示部分は本工程対象部分を示す。
2. 図中細線破線は、そのままとする。

	 有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第30-1356号	CHECK	DRAWING		縮尺	工事名称	図面番号 E-6/8 NO
					A2: --	しらとりこども園空調整備工事	
					設計年月日 R4.3	図面名称 動力設備 既設分電盤LM-1 結線図	

1. 図中太線部分のスピーカー・感知器を移設再取付とする。（エアコン室内機との干渉のため）
2. 再取付する器具類は、清掃・点検の上取付とし、既設器具と同等の施工方法にて取付のこと。
3. 感知器移設位置は、エアコン吹出口から1.5m以上離れた位置とすること。



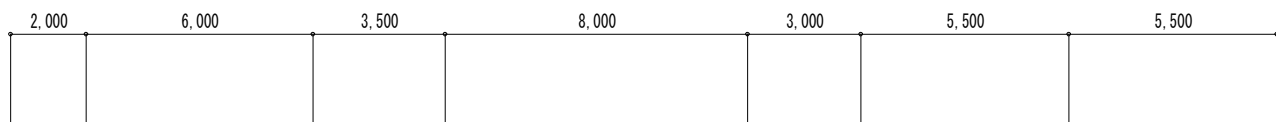
2歳児室 めろん組		
スピーカー	埋込型	～1 移設再取付
差動式スポット型感知器	(2種)	～2 移設再取付



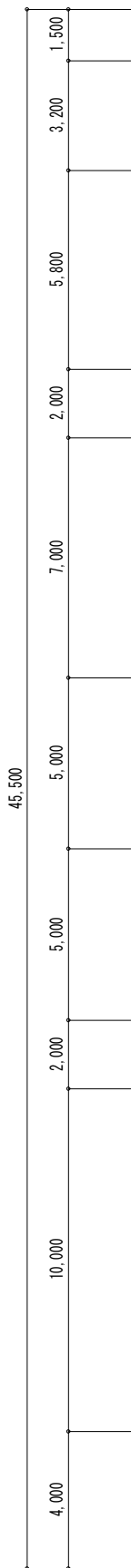
5歳児室 ひまわり組			
スピーカー	埋込型	～1	移設再取付
差動式スポット型感知器	(2種)	～2	移設再取付

平面図 S = 1 : 200 (改修後)

※ エアコン室内機と干渉するため、図中 // 印のスピーカー・感知器を取外しとする。



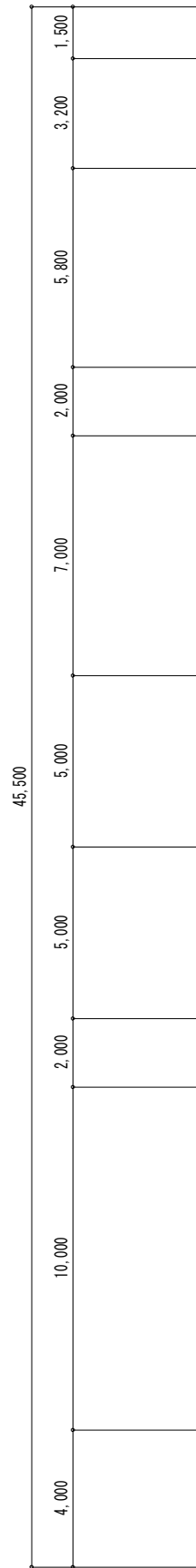
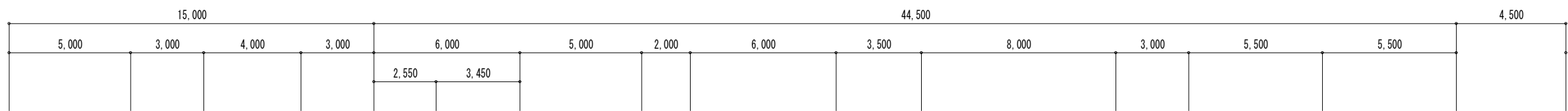
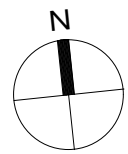
2歳児室 めろん組			
スピーカー	埋込型	～1	取外し
差動式スポット型感知器	(2種)	～2	取外し



機械警備センサーの移設は、別途警備会社工事とする

5 歳児室 ひまわり組			
スピーカー	埋込型	～ 1	取外し
差動式スポット型感知器	( 2 種 )	～ 2	取外し

平面图 S = 1 : 200 (改修前)

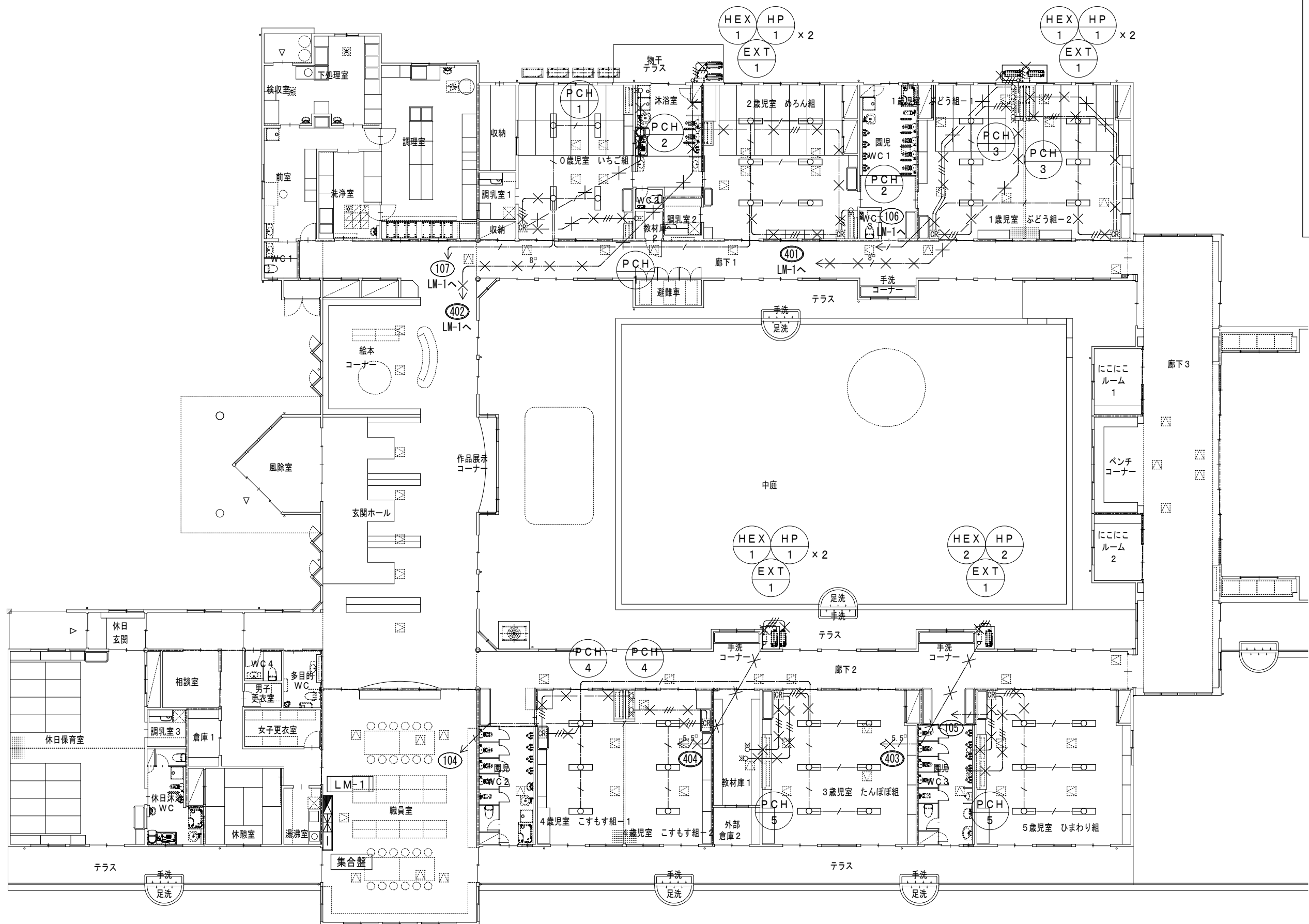


凡 例

記号	名 称	仕 様
CR	コントローラー	機械設備工事
電動弁	電動弁	機械設備工事

特 記

1. 図中記入なき配線は、下記による。
- 5.5<sup>φ</sup> EM-CE 5.5<sup>φ</sup>-3C (1Cアース線) 天井内
  - 8<sup>φ</sup> EM-CE 8<sup>φ</sup>-3C (1Cアース線) 天井内
  - EM-EFF 2.0-3C (1Cアース線) 天井内
  - EM-EFF 2.0-3C 天井内
  - EM-EFF 2.0-3C 冷媒配管共巻き
2. 図中×印部分は、撤去部分を示す。
3. 図中印は、既設天井点検口を示す
4. 既存施設を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、既設設備を十分確認して施工すること。



平面図 S=1:200 (撤去)



有限会社 亀 山 設 計  
鳥 取 県 米 子 市 両 三 柳 7 2 4 番 地 1 1  
一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 3 0 - 1 3 5 6 号

CHECK



DRAWING



縮 尺

A2: 1 : 2 0 0

設 計 年 月 日

R 4 . 3

工 事 名 称

しらとりこども園空調整備工事

図 面 名 称

動力設備 平面図 (撤去)

図 面 番 号

E - 8

NO